

2024年8月2日

報道機関各位

西川町はNTTテレコン株式会社東北支店様 株式会社テイデイー様と「豪雪地での水道遠隔自動検針システムを活用した実証実験に関する協定」を締結

8月5日（月）16:00より山形県西川町（町長 菅野大志）は、NTTテレコン株式会社 東北支店（支店長代理 三浦文彦）様と株式会社テイデイー（代表取締役 園部孝男）様と「豪雪地での水道遠隔自動検針システムを活用した（小山地区での）実証実験に関する協定」を、紹介者である株式会社荘内銀行様の立会い（櫻井常務取締役）のもと締結式を開催します。

高齢化が進む中山間地域において、デジタル技術の活用を通じて、積雪による難検針地区での水道遠隔自動検針システムの正常稼働の検証を行うことや、漏水の早期発見による断水リスクの軽減により、水道の安定供給を維持し、水道検針業務の省人化と行政の効率化に取り組みます。

当町は、流れる河川や沢沿いに集落が点在することから、検針業務に労力が割かれるほか、中山間地域における漏水発見の遅れから地域での断水につながるリスクに向き合っております。

ぜひ、取材をお願いいたします。



協定式

■ 8月5日（月）16時から 会場：TRAS（西川町間沢）

■ 協定内容

- ・積雪の多い環境で水道遠隔自動検針システムが正常稼働するのか小山地区での実証実験を行う。
- ・水道メーターの水道使用量のデータを活用し、漏水等の異常の早期発見を行う。
- ・水道メーター検針員の人手不足解消につなげる。